

## 第5学年3組 算数科学習指導案

令和5年5月25日（木）第4時限 教室

1 単元 小数のわり算（本時2 / 14）

2 本時の目標

（整数）÷（帯小数）の計算の仕方を、整数の計算に帰着して考え、説明することができる。

（思考力、判断力、表現力等）

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
つ か む  (5)	<p>1 前時までの既習事項を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1m分の値段を求める式を立てたね。</li> <li>わる数が小数の時も、整数の時と同じように式を考えることができたね。</li> <li>計算はどうやって行うのだろう。</li> </ul> <p>2 本時の学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習を本時につなげるため、前時の活動を確認しやすいよう既習事項を掲示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="font-size: small;">ひもの長さが小数のときも、1m分のねだんを求める式は、整数のときと同じようにわり算の式で表せます。</p> </div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;">                     小数でわる計算の仕方を分かりやすく説明しよう                 </div>	
ふ か め る  (35)	<p>3 計算の仕方を考え、ノートに書く。</p> <p style="text-align: center;"><b>【個人追究Ⅰ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小数を整数にして考えると…。</li> </ul> <p>4 ヒントカードを手がかりにして計算の仕方をチームで考え、ワークシートにまとめる。</p> <p style="text-align: center;"><b>【かかわり合いⅠ】</b></p> <p style="font-size: x-small;">①(0.1m分のねだんを求めてから、1m分のねだんを求める) ②(24m分のねだんを求めてから、1m分のねだんを求める)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>0.1mのねだん</p> <p>↓ × □</p> <p>2.4mのねだん</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2.4mのねだん</p> <p>↓ × □</p> <p>24mのねだん</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small;">③(わり算の性質を使って考える)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>96 ÷ 2.4 = □</p> <p>↓ × □</p> <p>960 ÷ 24 = □</p> </div> <div style="font-size: 2em;">⇄</div> <div style="text-align: center;"> <p>等しい</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノートに、答えを求める途中式を含んだ計算式と、どのように考えたかの説明を書くように指示する。</li> <li>思考を深めるために、同じヒントカードを選んだ児童同士でチーム学習を行うよう指示する。</li> <li>全体で考えを共有できるよう、ワークシートにまとめた説明の写真を撮り、スクラタクトに貼り付けるよう指示する。</li> </ul>
ふ り か え る  (5)	<p>5 全体で考えを共有し、共通点を見つける。</p> <p style="text-align: center;"><b>【かかわり合いⅡ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どの考え方も、小数点をなくして説明していたよ。</li> <li>〇〇さんと〇〇さんは、どちらも2.4を10倍する考え方だね。</li> </ul> <p>6 本時の振り返りをする。<b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24m分の値段を考えてから1m分の値段を考える計算の仕方を説明したけれど、〇〇さんの説明を聞いて、わり算の性質を使って計算する方がもっと簡単に計算できると感じました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考え方を順序よく説明できている児童を意図的に指名する。</li> <li>考え方ごとに指名し、児童の説明を黒板に整理して書き、考え方を分類できるようにする。</li> </ul> <p>◎「どんな共通点があるかな。」と問い、<b>整数の計算に帰着していることに気付くことができるようにする。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計算の仕方を、整数の計算に帰着する見方・考え方に着目してまとめる。</li> <li>小数でわる計算は、小数の計算を整数の計算に帰着させて行くと分かりやすく、わり算の性質を使うと簡単に計算できることに気付いた児童を称賛する。</li> </ul>

4 評価

（整数）÷（帯小数）の計算の仕方を整数の計算に帰着して考え、班や学級の友達に分かりやすく説明することができたか。

（活動4・5のワークシートから）